



台湾の六家高級中学生徒28名 利根商業高校を訪問 吹奏楽、ダンス披露で交流

台湾の新竹県立六家高級中学の1・2年生希望者28名と引率者3名が1月22日、みなかみ町の利根商業高校（浜野雅樹校長）を訪れた。昼食を共にしたり吹奏楽演奏やダンス披露などを通じ交流した。体育館で開催された歓迎式で浜野校長は「50数年の歴史ある商業高校」と述べ校訓や部活動など披露し「思い出になる旅行になることをお祈りします」とあいさつ。六家高級中学の王校長は「群馬県に生徒を連れてくるのは初めて、

利根商の生徒さんも台湾に来てくれたらうれしい」と挨拶した。続いて生徒代表挨拶、利根商からダルマなど記念品の交換が行われた。その後吹奏楽部が「上を向いて歩こう」「ルパン三世のテーマ曲」などで歓迎、六家高級中学の生徒は地元の伝統的な民族舞踊を披露した。式典には岸良昌みなかみ町長、松本耕司、星野寛両県議、戸塚俊輔・県観光局長が出席し親善を兼ね挨拶した。スポーツ交流は、利根商英語部の3年生がドッジボールを行い英語の会話のみで試合を行った。一行は20日に来日、22日23日の両日みなかみ町の7軒で農家民宿を行い各家庭でうどん作りやもちつき、料理、日帰り温泉入浴など田舎暮らしを体験し26日帰国した。



【記念品の交換】